

会議録

平成29年第3回

仙南地域広域行政事務組合  
教育委員会定例会会議録

平成29年9月25日開議

## 平成29年第3回仙南地域広域行政事務組合教育委員会会議録

1. 召集日時 平成29年9月25日（月） 午前10時
2. 召集場所 仙南芸術文化センター会議室
3. 出席委員 教育長 佐藤隆夫, 委員 佐藤よし美, 委員 菅原紀治, 委員 船迫邦則
4. 欠席委員 委員 佐山富夫
5. 説明のため出席した者  
教育次長兼仙南芸術文化センター館長 水戸雅彦  
主幹兼教育係長兼文化振興係長 黒澤良, 仙南芸術文化センター次長 玉淵博之
6. 開 会 午前10時

### 7. 平成29年第2回教育委員会定例会会議録の承認について

佐藤教育長	会議録について承認を求めます。
( 質 疑 )	<ありません>との声
佐藤教育長	質疑ないものと認め、会議録を承認します。

### 8. 会議録署名委員の指名

佐藤教育長	私のほか、佐藤よし美委員にお願いいたします。
佐藤(よ)委員	はい。

### 9. 諸報告

#### 報告第1号 仙南地域広域行政事務組合教育委員会委員の就任について

仙南地域広域行政事務組合教育委員会委員の任命について、平成29年7月27日、当組合第234回議会定例会において、菅原紀治七ヶ宿町教育委員会教育長を任命することに同意を得たことをご報告申し上げます。なお、任期は平成29年7月27日から平成33年3月31日までである。

( 質 疑 )	<質疑なし>
菅原委員	この度、広域の教育委員となりました、七ヶ宿町の菅原です。微力ながら尽力していければと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

#### 報告第2号 仙南地域広域行政事務組合教育委員会教育長職務代理者の指名について

仙南地域広域行政事務組合教育委員会教育長職務代理者の指名について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項の規定に基づき、佐山富夫角田市教育委員会教育長を指名したことをご報告申し上げます。なお、任期は平成29年9月25日から平成32年3月31日までである。

( 質 疑 )	<質疑なし>
---------	--------

#### 報告第3号 平成29年6月から同年9月までの主な事業等の経過について

教育委員会事業について、黒澤主幹よりご説明申し上げます。  
仙南芸術文化センター事業について、玉淵次長よりご説明申し上げます。

( 質 疑 )	<質疑なし>
---------	--------

### 10. 議事

### 議案第 1 号 仙南地域広域行政事務組合教育委員会教育長の辞職の同意について

佐藤隆夫教育長に関わる案件のため、佐藤隆夫教育長にはご退席願ひ、丸森町教育委員会教育長の任期満了に伴い辞職する旨を、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 10 条の規定に基づき同意を求めた。辞任申出年月日は平成 29 年 9 月 20 日、辞任年月日は平成 29 年 9 月 30 日である。

( 質 疑 )	<質疑なし>
船 迫 委 員	ただいま提出されました、教育委員の辞職の同意の案件は、これに同意することと決しましたので、お伝えいたします。 それでは教育長辞任のご挨拶をお願いします。
佐藤教育長	6 年ちょっとの間させていただきまして、私が今まで見たことのない世界に飛び込んで、最初は本当にわからない状態でした。水戸館長を中心にスタッフの皆さんに色々教えていただいて、全く違ったアートの世界や視聴覚の創造に関する機会を与えていただいて、私自身も成長させていただき感謝しています。日本はものづくり盛んにして国滅ぶというようなことをしております。日本は、色々な輸出製品や高度な工業製品を作りますが、それを活用したり、それで富を得たらどういう風に活用するかというソフトの部分が非常に欠けていると思います。古代から色々な文明が盛んで、必ずそこには芸術や文化が生まれて、地域が非常に活性化するということがどこの地域でも見られます。日本は経済的大国になったんですが、日本発の音楽やソフトの部分はまだまだ弱いと思っています。そういう意味ではえずこホールを中心にやっている取り組みは、芸術や文化を通して地域を活性化する、人々の心のよりどころを作っているという意気込み、住民参加型のコンセプトが非常に素晴らしいと思っておりまして、それを皆さんとともに歩んでこれたのが素晴らしかったと思います。委員の皆さまにも様々な知恵を出していただきまして、今の教育委員会を安定して維持し続けられたことについても感謝申し上げたいと思います。アウトリーチや視聴覚教材センターの移転など、数年間の出来事で、皆さんには本当に頑張っていたと思ってます。これからも何万人という人々の芸術文化に触れさせる機会を、こんなに多くの人々に訴えたり、喜びを与えたり住民の心を湧き立たせていってほしいと思います。20 周年記念事業のときなどは、「えずこせいじん」ということで見る人がびっくりするような芸術家たちが揃って、味わわせてもらったり、感激したり、誇りに思ったりしたところです。コンセプトを大事にしながら、ますます前進していただきたいと思います。本当に皆さんのおかげでここまでやってこれたことを心から感謝いたしまして、私の感謝の言葉といたします。本当にありがとうございました。

### 議案第 2 号 仙南地域広域行政事務組合教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価について

平成 29 年 8 月 28 日に行った教育行政点検評価員会議における平成 28 年度仙南地域広域行政事務組合教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価の結果について、水戸教育次長より別紙資料 1 にてご説明申し上げます。

( 質 疑 )	
佐藤教育長	えずこホールの運営の総額はどのくらいですか。
教 育 次 長	すべての事業費総額は 1 億 5,000 万円程です。

佐藤教育長	1億5,000万円のうちの6,000万円が大河原町から、あとの3,000万円は村田町と柴田町で、初めての方もいらっしゃるので説明すると、この3つの町が運営費を出すという契約で運営を始めたんですね。他の市町も使わせてもらっているけれど、利便性や将来のことを考えて、3つの町が1億円近くの資金を出している。その他に文化庁などから3,000万円くらいのお金を補助金として、あるいは協賛金などの援助としていただいて運営しているということですね。あとの2,000万円くらいは県からくるお金ですか。
教育次長	ホールの貸館収入で約1,000万円ほどあります。事業費については1,500万円を基本的な自主財源といたしまして、あとは入場料収入が約1,000万円、それに補助金や助成金を入れまして約4,000万から5,000万円くらいで事業を組んでいます。
佐藤教育長	2,000万から3,000万に増えると1,000万円分の仕事がまた増えて、スタッフの方にとっても非常に大変だと思うんですが、なんとか知恵を出していただいて、移転して教育委員会とえずこの職員が一緒にやることによってどちらにもプラスになるようなやり方でクリアしてきたと思うのですが、この点はどうですか。
教育次長	事務所が一本化されたことによって、それぞれの特性をお互いに助け合うような体制をとっております。これまでばらばらだったものが、それぞれ協力し合っただけよりも効率良く、しかも多くの仕事がこなせるようになってきていると実感しているところです。
佐藤教育長	例えば教材の申し込みが、移転前は土日がだめだったんですが、これは大丈夫になったんですか。
教育次長	毎日やっております。
佐藤教育長	そうすると、えずこホールが開いている時間は一日中大丈夫だということになりますね。例えば、先生たちにとっては、平日は授業をされていて忙しいんですね。電話一つ取るにも非常に難しい。でも、土日あたりで連絡をしてゆっくりと申し込みできれば非常にメリットが出てきますね。
佐藤教育長	住民創造型の企画も色々ありますが、住民の方があぶきゅうの曲を作ったということは非常に良いことだと思います。住民参加型というのは地方に文化の核を作っていく可能性があると思うんですね。例えば、沖縄では音楽に特化したチームを作ったわけですが、そのまま東京に行って沖縄と何の関係もないアーティストになったんですね。足場をきちんと土地に置いて活動するというのであれば、住民参加型で色々なグループができて、発表会をしてお互いに認め合ったり、ほめたたえ合ったりするというのは、良いと思います。そこで住民参加型の核になるのが、テレビドラマやラジオのシナリオを書ける人間、作曲できる人間。そんな人たちが育つ仕組みがあっても良いと思います。将来、関心のある人に向けて教室を作って、シナリオライターの人から一年間に何回か授業をしてもらって。最初はラジオの脚本で、大河原発の地域を題材にしたドラマ、それがテレビドラマになったり映画になったりする可能性があるれば良いと思います。そんなところも視野に入れながら、これから進めていってもらいたいと思います。
船迫委員	財政支援のところ、継続的なものと単年度のものというのは、どのくらいの割合であるんですか。
教育次長	基本的にはすべて単年度で、単年度ごとに申請をして支援をいただけるかどうかということになります。現実的に継続でいただいているのは、文化庁、みやぎ県民文

教育次長	化創造の祭典共催事業、それから東京都については震災後に出てきた事業ですが、震災以降は継続でいただいております。サントリー芸術文化財団助成金も4年目になります。これも震災後に出てきた基金で、継続でいただいております。いずれすべて単年度なので毎年申請をして、支援をいただけるかどうかはその都度の採択結果によって変わってくるという状況です。
船迫委員	ぜひ継続してきたものについては更なる継続、また新たな財政支援がいただける窓口があるのかないのかというところを、アンテナを高くしていただければと思います。
船迫委員	29ページの「60歳からの楽しいクラブ活動」で「縁劇部」という言葉が、縁側の「縁」になっているんですが、何か意図的な理由があったんでしょうか。
教育次長	そうですね。縁があって集まった人が一緒に演劇を作るといような意味でこの言葉を使わせていただいております。
船迫委員	こういった言葉が広がっていけばいいなと思って見させていただきました。
佐藤(よ)委員	平成28年度は20周年記念事業ということもあったと思いますが、本当に様々な多方面に向かっての事業があつてとてもいいなと思っているんですが、予算の関係もあるとは思いますが、それぞれの事業を来年度はどの程度継続可能なのかお聞きしたいです。
教育次長	各事業については、評判の良かったものや継続していただきたいとご意見をいただいたものについては、なるべく継続したいと考えておりますが、確かに予算規模については、どうしても今年度以降は6~7割程度圧縮されておりますので、その範囲内で可能な限り評判の良かった事業については継続をしたいと考えているところです。
佐藤教育長	今回初めての方もいらっしゃるので、基金とこれまでの各市町から出しているお金で10億円を積んで、その利子でAZ9の運営をしてきた経緯をご説明していただければと思います。
教育次長	AZ9 ジュニア・アクターズの事業に関してですが、元々はふるさと市町村圏基金という基金を積み立てして、その果実で運営をしてきたものでございます。これは各市町から県が1億円を出して全部で10億円を積み立てして、その果実でやってきたんですが、しばらく前はかなり利率が高かったものですから、ある程度潤沢な事業を展開することができたんですが、今は本当に低金利になっておりまして、さらには3年前にはふるさと市町村圏が廃止になりまして、仙南地域広域行政事務組合としましては、ふるさと市町村圏は廃止、じゃあ基金についてはどうするかという話になりまして、とりあえず10億円で継続するという方法と、全部返したらいいのではないかという議論がございました。ただすべてを市町村に返しますと県の1億円も返すことになりまして、1億だけ残して、残りの8億を市町村に戻すことになり、すでにそれは還付済みになっております。仙南2市7町から1億円、県からの1億円、2億円の基金でAZ9事業を継続するという事なんですが、それですと年間60万円くらいの果実しかございません。ただ今まで約3,000万円の余剰金をストックしておりますので、これは使えるお金になっています。それで計算しますと、約5年間についてはAZ9事業を継続することができるんですが、その先については予算が足りないので継続できない状況になりますので、ここ2、3年くらいで様々なご意見をいただきながら、継続するのであれば継続の方向で色々

教育次長	な手立てを考えていかなければいけない時期となっております。教育委員会としては素晴らしい事業なのでぜひ継続していきたいと考えておりますが、各委員さん、更には他の市町の教育長さんなどのご意見も踏まえながら、どういう形で継続できるかをぜひ皆さんからご意見をいただければと考えております。
佐藤教育長	そのあと一般会計から繰り出してもらおうかどうかにつきましては、各市町の理事さんたちにかかっているわけですね。理事会の方で協議して出してもらおうと。そうしますと教育長さん方と首長さんたちに対するアピールが非常に重要になってくるわけですね。今 AZ9 の公演はローテーションで各市町を題材にしていますので、招待して公演には必ず来てもらうように。それから黒澤主幹にお願いですが、その年にやった公演の DVD を全部の市町に配ってもらうようにしていただきたいと思います。それを教育長が持っていて各学校に貸し出したりして、昼休みの時間などに放送してもらおうとか、そういう風にして盛り上げて、素晴らしいことをしてるんだということを知ってもらった方が良くと思います。今は人数ぎりぎりで行っているの、倍ぐらいの人が来てくれるような、熱っぽさがあっても良いのかなと思います。
菅原委員	20周年記念の色々な催し物、そして従来のものであるということで大変な思いをされたんじゃないかなと思って見させていただきました。点検評価を見せていただくと、だいぶ好評なようで、今後も継続していきたいというようなお考えを伺わせていただきましたけれど、次から次へと新しいものを打ち出していくとかなり負担増につながっていくんじゃないかなという気もしておりますので、新しいものを立ち上げたら一つはつぶすというようなこともやっていかないと、職員の方々の負担が軽減できないんじゃないかなと思うので、ぜひその辺も検討していただければと思います。
	<質疑なし>

### 1.1. 次回教育委員会定例会の日程について

佐藤教育長	平成29年11月27日午前10時から、次回の定例会を実施いたします。
-------	------------------------------------

### 1.2. その他

#### ○ 平成29年度全国自作視聴覚教材コンクールの入賞について

黒澤主幹よりご説明申し上げます。

平成29年8月14日・15日に行われた平成29年度全国自作視聴覚教材コンクールに、仙南地区からは4作品を出品し、うち1作品(大脇賢次氏[柴田町]「ふるさと柴田の桜」<映像教材>)が中学校部門で入選した。

( 質 疑 )	
船迫委員	そもそもこのDVD作りがスタートしたきっかけは、大脇先生のこの言葉でした。「自分も含めて仲間が子どもたちのためにDVD教材を作るけれど、なかなか活用されないということが一つ課題なんだ」ということで、毎年活用されるDVDとして柴田町の桜について、ちょうど「SAKURA PROJECT」という活動をしているので、その場で活用されるものを作ってもらえませんかということでスタートしました。毎年小学校5年生を対象にということでお話をし、コンクールは中学生向けでしたが、今は小学校5年生向けのバージョンを作っているのと

船 迫 委 員	ころです。本当にご協力ありがとうございます。
佐藤教育長	丸森町の事務局も 4 市 9 町のインバウンドのDMを作っています。一つの市町では戦えないので 4 市 9 町が力を合わせて進まなくちゃいけない。この教材も、もしできたら、全編英語にして世界中にばらまけるようなれば良いと思います。もっと簡単な内容にしても良いと思います。ほとんどの学校で桜を育てているので、また新しい続編を作ってください。例えば今、中国人とか台湾人が桜のシーズンに日本に来ているんですが、桜というのは一週間しか咲かないので、それを他の季節にも繋ぐということが課題となっています。大河原町にしても柴田町にしても桜まつりの期間だけになっているので。本当にご苦労さまでした。
	<質疑なし>

○ 平成 29 年度仙南地域広域行政事務組合教育費補正予算（第 1 号）について

水戸教育次長より別紙資料 4 にてご説明申し上げます。

今回の補正の要点は前年度繰越金の処理である。

( 質 疑 )	<質疑なし>
---------	--------

○ 平成 29 年度仙南地域広域行政事務組合仙南芸術文化センター特別会計補正予算（第 1 号）について

水戸教育次長より別紙資料 5 にてご説明申し上げます。

今回の補正の要点は前年度繰越金及び確定した国庫補助金の処理である。

( 質 疑 )	<質疑なし>
---------	--------

13. 閉 会 午後 12 時 3 分

上記の会議の顛末を記録し、その内容が真正であることを証するためにここに署名する。

平成 29 年 10 月 16 日

教 育 長

署名委員